

2020年9月29日

SMN 株式会社

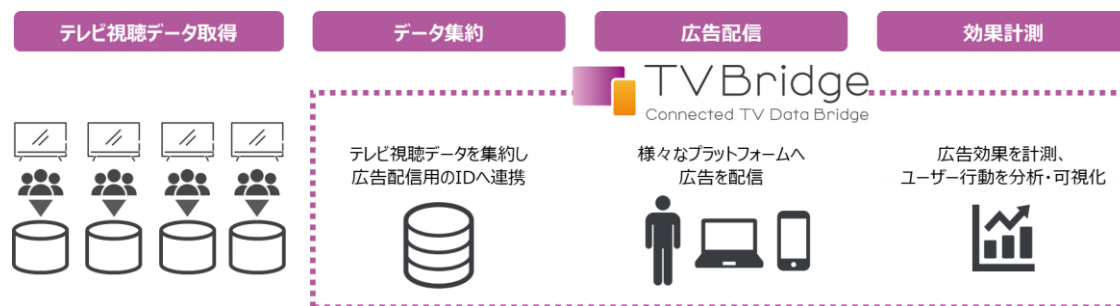
日本最大級のテレビ視聴データ活用広告配信サービス 「Connected TV Data Bridge」(TVBridge) 提供開始

～国内大手テレビメーカーのテレビ視聴データを活用～

SMN 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石井 隆一、以下 SMN）は、国内大手テレビメーカー複数社がユーザーから広告用途への利用を許諾され取得しているテレビ視聴データ（*1）と、SMN が保有するデジタルメディアの接触データを基にした広告配信を実現するデータ活用サービス「Connected TV Data Bridge」（以下:「TVBridge」ティービーブリッジ）の提供を2020年9月29日（火）より開始します。本サービスにより、テレビ番組、CMとWebメディアを包括的にとらえ、双方の広告効果の最大化に貢献するとともに、生活者に対しても、より快適で有益な広告の提供を目指します。

■ サービスサイト： < <https://tv-bridge.com/> >

■ サービスイメージ図



近年、生活者のテレビ視聴形態は、従来のテレビ番組をはじめインターネット視聴など、大きく広がっています。また、メディア接触行動も、テレビと同時にスマートフォンを視聴するなど、多様化しています。

「TVBridge」は、ソニー、パナソニック、シャープ、東芝映像ソリューション（*2）の約 500 万台（2020年9月29日現在）のテレビ視聴データと、SMN のデジタルメディアの接触データ（スマートフォン、PC 上で閲覧した Web やアプリの行動データ、約 3.3 億 ID）を、専用の DMP（*3）「TVBridge DMP」に集約することで、プライバシーにも考慮した形で様々なメディアに対し適切に広告配信することができ、多様化する時代のニーズに応えたサービスを提供いたします。

■ 「TVBridge」の特徴

① 日本最大級のテレビ視聴データを「TVBridge DMP」により管理

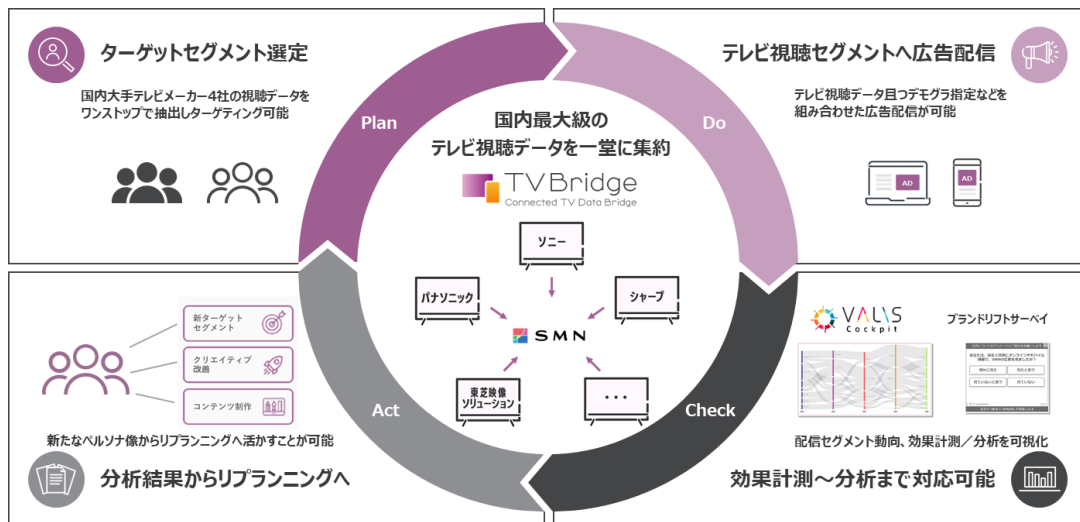
各社のインターネットに接続されたテレビが取得する視聴時刻に基づいたCM視聴、番組視聴を軸とした日本最大級のテレビ視聴データを、専用のDMP「TVBridge DMP」に集約し、SMNが管理いたします。「TVBridge DMP」では、今後も拡大するテレビ視聴データを活用した、新たなターゲット手法を用いて効果的な広告施策を実現します。なお、「TVBridge DMP」に集約されたデータを基に、ソーシャルメディアなどの広告プラットフォームと連携した配信も行うことができます。

② 広告配信を基に、リアルデータを用いたPDCAサイクルを実現する「TVBridge Ads」

「TVBridge」による広告配信機能「TVBridge Ads」は、SMNがDSP（*4）「Logicad」で培った広告運用や配信実績を活用するものです。特に、自社のテレビCMや対象のテレビ番組の視聴データを基に、ターゲットの興味対象を判別し、ブランディング領域を含む商材の特性に応じた広告配信が可能となることで、より明確なターゲットセグメントへのリーチを行います。

さらにマーケティングAIプラットフォーム「VALIS-Cockpit」（*5）との連携により、態度変容やブランドリフト効果の検証、課題の抽出、可視化を行います。加えて、アンケート調査、購買行動データとの紐づけなどを行うことで、統合的なマーケティングプランのPDCAサイクルを実現します。

■ PDCA サイクル図



なお、「TVBridge」の利用につきましては、SMNの既存サービスとの契約以外でも対応が可能です。詳細は[「問合せフォーム」](#)よりご確認ください。

SMNでは、「TVBridge」において、様々な端末の特性を活かした、新たな広告領域でのサービス提供も視野に入れた展開を行ってまいります。

*1 テレビ視聴データ

ユーザーから広告用途への利用が許諾されているテレビ放送（全国の地上波、BS、CS）の視聴データです。なお、個人を特定する情報は含まれていません。

*2 各社の正式名称は以下の通りです。

ソニー：ソニーホームエンタテインメント&サウンドプロダクツ株式会社/ソニーマーケティング株式会社

パナソニック：パナソニック株式会社

シャープ：シャープ株式会社

東芝映像ソリューション：東芝映像ソリューション株式会社

*3 DMP (Data Management Platform)

各種端末利用者の属性データやウェブサイトのログデータなどを集約、管理、分析し、広告配信などマーケティング活動の最適化を行うプラットフォームです。

*4 DSP (Demand Side Platform)

広告主の広告効果の最大化を支援する広告配信プラットフォーム。広告媒体社の広告収益を最大化するためのプラットフォーム SSP (Supply Side Platform) とともに、RTB (Real Time Bidding) を通じて、広告枠の売買をリアルタイムに行っています。

*5 「VALIS-Cockpit」 (ヴァリス-コックピット)

自社開発した AI「VALIS-Engine」により Web ユーザーの行動を分析することで、様々なユーザーのインサイト (「どんなユーザーが商品を購入したのか」、「なぜこの商品を購入しなかったのか」など) を抽出して可視化し、プランニングから広告配信までを一気通貫にデータドリブンで実施するためのプラットフォームです。

■ SMN 株式会社 < <https://www.so-netmedia.jp/> >

2000 年 3 月に設立。ソニーグループで培った技術力をベースに、マーケティングテクノロジー事業を展開しています。「技術力による、顧客のマーケティング課題の解決」を実現するため、ビッグデータ処理と人工知能のテクノロジーを連携し進化を続けています。

現在、DSP「Logicad」、マーケティング AI プラットフォーム「VALIS-Cockpit」をはじめ、実店舗事業者向けマーケティングプラットフォーム「Marketing Touch」を提供することで、マーケティングに関する様々な課題解決を実現しています。

※記載されている会社名、団体名、商品名、サービス名は各社、各団体の商標または登録商標です。

<本件に関する報道関係者からの問合せ先>

SMN 株式会社

コーポレートカルチャー & リレーション推進課 広報担当

TEL: 03-5435-7944 / E-Mail: pr@so-netmedia.jp